

秋田県立角館南高等学校 中期ビジョン（五カ年計画）

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

地域の中学校卒業者が大幅に減少する傾向にあり、また女子校の共学化の流れの中で存続しています。小規模な女子校ですが、その分「生徒一人ひとりを大切にする教育」を掲げ実践しています。しかしながら、地域の普通科校の募集枠に男女のアンバランスが多く見られ、教育課程においても男女差がほとんど見られない状況にあります。

長い歴史の中で築いてきた伝統や特色を生かしつつ、新しい発想に基づいた学科の編成を行うと共に、地域や生徒のニーズに応えられる教育内容を盛り込むためにも、同地区角館高校との統合が期待されています。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

少子化に伴う角館高校・角館南高校の小規模化を避け、適正規模の活力ある高校を新設し、生徒にとって魅力があり教育効果が得られる学校づくりが必要です。生徒自らが人生を切り拓いていく知性と行動力を育てていくために、多くの人や情報を提供し、多様な選択肢を準備する等の学習環境の整備に取り組む必要があると考えられます。また産業構造の変化や地域社会の変容等を勘案し、将来の生徒たちの希望に応えられるような教育活動を展開する必要もあると思われまます。

3 目指す方向性や学校像（統合校の目指すもの）

◎基本理念 ～「郷土を愛し国際社会や地域社会に貢献できる人材の育成」～

- (1)自ら高い志を掲げ挑戦する「若杉精神」及び清く賢く強い人間を目指す「駒草精神」を継承する生徒の育成。
- (2)多様な進路希望に応じた教育を行い、確かな学力を身に付けさせ、社会に貢献できる人材の育成。
- (3)地域の教育力を活用した体験的学習等を通して豊かな感性を育て、心身の調和のとれた人間の育成。

◎教育方針

- (1)キャリア教育を教育活動の中心に据え、第一線で活躍する企業人等との交流やインターンシップなどを通して、生涯にわたって学ぶ意欲をもち、真理を追求し続けることのできる人間を育成する。
- (2)県内の高等教育機関との連携を密にし、ふるさと秋田を支え時代のニーズに柔軟に対応できる人材を育成する。
- (3)国内外の高校や大学との交流を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。
- (4)学校設定科目や「総合的な学習の時間」を活用し、伝統的な郷土の諸行事等を通して郷土についての理解や愛着を育成する。

◎教育課程の編成

- (1)文系及び理系の国公立大学を目指す進学クラスに加えて、情報・家庭・芸術等の高等教育機関への進学を志望する生徒にも対応できる教育課程を編成する。
- (2)地域の観光ガイド等のボランティア活動に繋がる第二外国語（韓国語・中国語・ロシア語）の基礎を学ぶ教育課程を編成する。

4 5年間で達成を目指す具体的目標

国公立大学	120名	(難関大学・学部50名)
短大	40名	
専修・各種学校	40名	
就職	40名	(公務員20名)

具体的な取り組み等

特色ある類型・コース設定により多様な進路を実現し、国際社会や地域社会に主体的に貢献できる人材を育成する高校

- 地域の伝統を生かしながら、国際社会や地域社会に貢献できる有為な人材を育成する高校
- 生徒の多様な進路希望に対応させた類型を設定すると共に選択幅を拡大し、よりきめ細かな学習指導を行う高校
- 地域の社会人講師による郷土学習や地域の特性を生かした体験活動等、地域の教育力を生かした高校

具体的な方策として

- (1) 教育活動の内容を適宜HPで発信し、積極的に地域住民との交流を図る。
- (2) 地域の人材や施設等を活用した体験学習や部活動などの教育活動を展開する。
- (3) 地域の一員としての自覚を持たせ、伝統的祭典や観光ボランティア活動への参加を促進する。
- (4) インターンシップなどにおいて、高校間連携による企業情報などの共有化を図る。
- (5) 学校評議員制度の有効な活用と学校外部からの学校評価等を積極的に公開し、地域の要望等に応える「開かれた学校づくり」を推進する。

* 「統合」までの本校の具体的な取り組み等

～「思いやりの心を育てる教育」・「生徒一人ひとりを大切にせる教育」の実践～

- (1) 教員の授業力・生徒の学力の向上を図ります。
 - ・教材研究に努め、互見授業や積極的な研修で教師一人ひとりが授業力を高めます。
 - ・教員一人ひとりが「達成すべき目標を明確にした授業」に努めます。
 - ・「問い」を発する生徒の育成に努め、基礎学力の定着を図ります。
 - ・資格取得試験（英検、漢検、数検、ワープロ検等）に積極的に挑ませます。
 - ・落ち着いた「読書」の習慣化により、社会人としての素養を高めます。
- (2) 生徒全員の進路希望達成を目指し、進路指導の充実を図ります。
 - ・本校のキャリア教育の方針を明確にし、キャリア教育のさらなる充実に努めます。
 - ・生徒との面談や保護者との連携を密にし、ニーズに応えた進路指導を行います。
 - ・大学や短大進学率の向上に努めます。
 - ・地域との連携を深め、地域の職場開拓に努めます。
 - ・体験活動等にかかわる学修（インターンシップ・ボランティア活動等）を促進します。
- (3) 部活動の振興を図ります。
 - ・全国全県レベルで活躍する運動部や文化部を育成します。
 - ・部活動を充実させ、生き抜くたくましさを育成します。
- (4) 地域に信頼される学校づくりに努めます。
 - ・「こころ 姿 ふるまい さわやか高校生」運動に積極的に取り組みます。
 - ・校内外の生活指導やマナー教育を徹底し、健全な社会人としての基礎を培う教育を実践します。
 - ・「地域との交流会」（一人暮らしの老人を学校に招き交流する本校の伝統行事）等地域に密着したボランティア活動を通して、道徳教育や人としての在り方教育を推進します。
 - ・「総合的な学習の時間」を中心に地域や伝統文化を尊重する教育を推進します。
 - ・仙北市と連携し、地域の観光ボランティアや地域と共に企画運営するイベント等に協力し、若い力を地域の活性化に繋がります。

付記 平成24年3月14日一部修正。